

講評

I

出典 畑村 洋太郎「失敗を生かす仕事術」

「失敗」は誰もが恐れることですが、筆者は「失敗」しないためにはどのようなことに注意しなければならないかということ述べています。文章自体は読みやすく、受験者にも易しかったようです。

問1【漢字の書き取り問題】(解答番号は①～⑦)

a 不履行 b 経費 c 矛盾 d 弊害 e 開拓 f 漠然 g 遂行

いずれも難解な漢字ではありません。「経費」、「矛盾」はよくできていましたが、「不履行」はできていませんでした。新聞などを読み語彙力を高めるようにしておきましょう。

問2【空欄補充問題・文脈把握】(解答番号は⑧～⑩)

空欄Ⅰの前では、変化を恐れることのない人のことが書かれています。空欄Ⅰでは逆説的に書かれていることを読み取る必要があります。正答は⑤です。空欄Ⅱは2段落後の最初の文がヒントで、正答は②です。空欄Ⅲは次段落の1文目を理解できれば正答を導けます。正答は①です。空欄Ⅰ・Ⅱの正答率は71%と88%でよくできていましたが、空欄Ⅲは40%でした。

問3【慣用句の意味】(解答番号は⑪)

「けんもほろろ」とは「頼みや相談などを冷淡に断るさま・とりつくしまもないさま」などと辞書類で説明されます。これに該当する選択肢は④です。正答率は89%でした。

問4【文脈把握と内容理解】(解答番号は⑫)

問題文に「営業の仕事を例に取れば」とあるので、それ以後の内容を理解すると正答は③と分かります。①・②は営業の中途の内容しか書いておらず、④「二束三文になっても売り切る」、⑤「自己の優秀さを誇示する」が間違いです。正答率は65%でした。

問5【文脈把握と理由説明】(解答番号は⑬)

段落の内容はもちろんのこと、指示詞「それ」が何を指しているのかを押さえれば正答は①と分かります。②「発展させなければ」、③「熟慮し」、④「他者に～認識させることができない」、⑤「能力を向上させるような」、⑥「他者が納得するように指示」がそれぞれ間違いです。正答率は65%でした。

問6【文脈把握と内容理解】(解答番号は⑭)

正答は④です。正答率は74%とよくできていました。

問7【文脈把握と内容理解】(解答番号は15)

正答は①です。慣用句の意味を尋ねています。受験者には難しかったようですが、高校までの国語の授業で一度は聞いたことがあると思われるものを挙げています。本文読解の訓練も必要ですが、一般常識としての言い方を知っておくようにしましょう。正答率は19%でした。

問8【文脈把握・内容理解】(解答番号は16)

正答は⑤です。傍線部Fを含む段落の前を整理すれば難しくありません。①「他者の仕事に適用すると」、②「洗練された思考へと変化する」、③「迷惑な思考法」、④「新たな思考方法を構築してしまうため」、⑥「公私の区別がつかなくなってしまう」がそれぞれ間違いです。正答率は57%でした。

問9【小見出し】(解答番号は17)

ここでの論は、「冷めた見方」をもち自分が変化することの重要性ということです。この「冷めた見方」が三割の余裕ということなので、正答は⑧です。正答率は46%でした。

問10【内容合致問題】(解答番号は18・19)

正答は①・⑤です。②「新たな仕事を獲得することができる」、③「一時的に一部放棄して」、④「社会を活性化させる起爆剤」、⑥「聞く耳を持っていないと」、⑦「臨床心理学」は関係がない、⑧「スキーマ的思考を押し通して」がそれぞれ間違いです。2問とも正答した受験者は40%でした。

II

出典 福岡 伸一「生物と無生物のあいだ」

生命の本質を動的な流れとして捉えた文章です。動的平衡とはどのようなことを指しているのか、文頭の比喩も踏まえて内容を正しく理解することがポイントです。

問1【漢字の書き取り・読み取り問題】(解答番号は20～26)

a ちみつ b 楼閣 c ひゆ d 循環 e いしょう f 感得 g 容赦

全問正答者はいませんでした。「感得」、「容赦」の正答者が少なかったです。

問2【空欄補充 文脈把握に関する問題】(解答番号は27)

空欄Ⅰ、Ⅱをそれぞれ「主要元素」、「生体反応をつかさどる酵素や基質」という言葉で置き換えると、前文の比喩Ⅲが「生命というもののありよう」として理解されることが記されています。「つかさどる」や「ありよう」がヒントになります。正答率は72%でした。

問3【空欄補充 文脈把握に関する問題】（解答番号は28～30）

空欄「甲」は、骨や歯が一見どのような構造に見えるかを押さえれば、正答が導けるはずです。正答は⑤です。空欄「乙」は、互いに他を複製しあう関係を示す適切な言葉を選択します。正答は⑥です。空欄「丙」は、きわめて安定した形で情報が保存されるという表現がヒントです。正答は②です。正答率は、それぞれ69%、35%、40%でした。

問4【空欄補充 内容理解に関する問題】（解答番号は31）

予想に反した結論であって、「体重が減少しているときでさえ」に対応する言葉を選択します。正答は④です。正答率は30%でした。

問5【空欄補充 内容理解に関する問題】（解答番号は32）

分子のレベルでは驚くべき速さで中身を入れ替えている実態がヒントです。正答は①です。正答率は58%でした。

問6【空欄補充 内容理解に関する問題】（解答番号は33）

細胞内では常に分子と原子の交換があり、部分的な分解と修復がなされていることを踏まえれば、正答が導けるはずです。正答は⑥です。正答率は33%でした。

問7【空欄補充 内容理解に関する問題】（解答番号は34）

貝殻と小石を同一の存在と認識するか、しないかが前提となります。次にその認識をどのようなものとして捉えるかがポイントとなります。正答は⑤です。正答率は58%でした。

問8【傍線部の説明 内容理解に関する問題】（解答番号は35）

前段までの内容から、ダイナミックな「流れ」を正確に把握することがポイントです。正答は①です。正答率は75%でした。

問9【傍線部の説明 内容理解に関する問題】（解答番号は36）

生命を構成する分子は流れの掟から免れることができないことを受けて「不磨の大典でない」という表現を用いていることがヒントです。正答は①です。正答率は83%でした。

問10【傍線部の説明 内容理解に関する問題】（解答番号は37）

直前に記される「このような乱雑さが蓄積する速度よりも早く、常に再構築を行う」が指す内容を正確に把握し、それに該当しない内容を選択することがポイントです。正答は④です。正答率は70%でした。

問11【内容合致問題】（解答番号は38・39）

正答は③と⑧です。③は、「外部の需給バランスがとれていないときに限り」として、貯蔵庫内の変化を限定的に捉えている点が誤りです。⑧は、「エントロピーの発生を阻止させるので」とありますが、エントロピー増大は本文中にあるとおり「すべての物理現象に押し寄せ」「エントロピー増大の法則は容赦なく生態を構成する分子にも降りかかる」のであって、その発生を阻止できるとする表現は誤りです。2問とも正答した正答率は36%でした。